

ライアー響会

会員のための講座 No.52



M.トビアッセンの作品を弾こう “夜のエルベ川で”

～D.カバレフスキーのメロディーによる7つの情緒ある風景～

2023年4月2日(日)

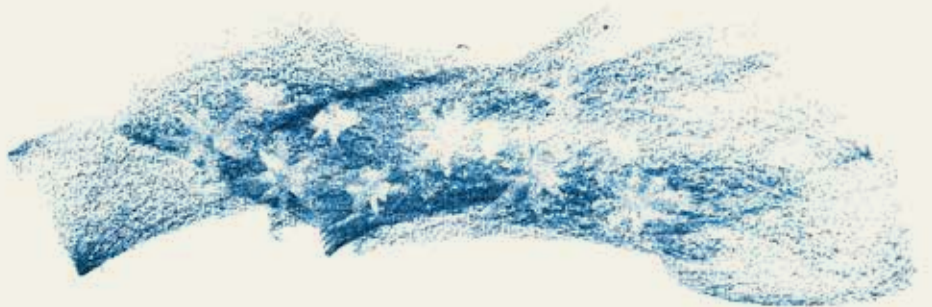
成美教育文化会館 ギャラリー

10:30～15:30 (10:15開場)

講師： 泉本信子

参加費： 3500円

定員： 30名



●マーティン・トビアッセン (1959-) は、素晴らしいライアー演奏者であると共に、作曲家であり、「ライアー教則本・果てしない軌跡」(会報 17～19号に掲載)の著者でもあります。シュタイナー学校の音楽教師、教員養成ゼミナールの講師を勤めたのち、現在も精力的にライアー講座の企画・運営を行っています。

●この曲は“生徒のライアーオーケストラのために”作られた曲です。

ハンブルクのシュタイナー学校の音楽教師であり、第1回ライアー国際大会(ハンブルク)の開催に貢献したペーター・レッベ(1944-2018)の60歳の誕生日に贈られた作品です。

エルベ川はチェコからドイツの東の方を抜け、ハンブルク港で北海に流れ込む大河です。レッベさんは川のそばを散歩されていたそうです。そこからインスピレーションを得て、また川、水のもつ深い内的なインスピレーションから7つの違った情景を、D.カバレフスキーの短いメロディーをモチーフとし表現したとのこと。さらにH.ヘッセの小説「シッダールタ」からも影響を受けたと、述べています。

(*シッダールタは川の流れの中に、あらゆる創造と再生を感じ、悟りの道をひらく)

7曲の中から「むかしの踊り」「川の物語」「大河」の3曲を取り上げます。

泉本信子

1988年からスザンネ・ハインツにリイアーを学ぶ。1992年にはM.トビアッセンのレッスンを受ける。その後ヴォルフガング・フリーベに師事。2003年よりS.ハインツとリイアーデュオを組みドイツ各地でコンサートをする。2005年5月にはアイルランドツアーを行い、各地のキャンプヒルで演奏。2008年頃から「リイアーゼクステット」や「リイアークヴァルテット」に参加。現在はT.ラインス、W.フリーベとの「トリオ」で活動中。日本では「リイアートリオ A.K.I.」（相川容子・吉良創・泉本信子）で1999年よりコンサートを続けている。また長年リイークラスをもつとともに、「リイアー音楽コース」でリイアーを深く学ぶ企画をし、現在4期を迎えている。

◆参加費 3500円

◆持ち物 リイアー(A=432Hz)・譜面台・楽譜

◆昼食場所の用意をしています

◆申し込み・お問い合わせ

①お名前 ②郵便番号 ③ご住所 ④Tel/Fax番号 ⑤ご希望のパート（ソプラノ、アルト）

をご記入の上、下記まで、できるだけメールでお申し込みください。

※右のQRコードを読み込むと申し込み項目の記載されたメールが起動します。



参加申し込み
QRコード

申込開始:2月12日(日)以降にお願いいたします。

E-Mail hibiki@leierkyokai.jp

Fax 047-372-2807 (水野)

※お申し込み後、下記のゆうちょ銀行振替口座に参加費をお振り込みください。

ご入金確認後、ご希望のパートの楽譜を郵送いたします。

振替口座	番号	00180-8-570665
	加入者名	リイアー響会
他金融機関から	〇一九店	570665

*定員に達した後のお申し込みは、キャンセル待ちとさせていただきます。

*ご入金後のキャンセルにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大などによりやむを得ず中止となった場合を除き、返金いたし兼ねます。ご了承ください。

*楽譜についてのお願い

この曲の楽譜はM.トビアッセン氏自身が楽譜制作・印刷・製本作業をされています。リイアー響会で楽譜を購入した際に「コピーはしないように」とのお知らせがありました。しかし講座には事前に練習して参加していただきたいので、担当者の責任においてコピーをしてお送りいたします。再コピーをされませんようお願いいたします。

とても素晴らしい作品なのですが、残念ながら再注文は非常に難しい状況のようです。ご理解ください。

(泉本・小林)

成美教育文化会館

〒203-0014 東京都東久留米市東本町8-14

Tel 042-471-6600

<http://www2.odn.ne.jp/kyobun/>

西武池袋線 東久留米駅北口より所沢方面へ徒歩4分

*新型コロナウイルス感染防止のために

- ・当日ご自宅で検温し、体調に不安のある方は参加をお控えください。
- ・会場内ではマスクの着用をお願いします。
- ・十分に間隔をとってお座りください。
- ・定期的にドアを開けて換気をいたします。
- ・会話なども適度な距離をとって、控えめにお願いします。

